

宇宙のまち大樹町

これまでの歩み

🚀 : ロケット関連 ◆ : ロケット以外の実験、試験 ● : その他



1984

宇宙産業基地構想発表！

北海道東北開発公庫（現日本政策投資銀行）が北海道航空宇宙産業基地構想を発表。



1992

大樹町初の宇宙関連実験実施！

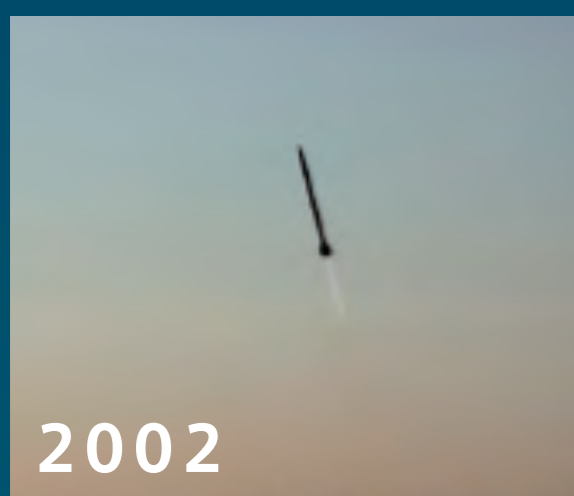
文部省宇宙科学研究所が大樹町で初の宇宙関連実験「グライディングパラシュート実験」を実施。ヘリコプターからグライディングパラシュートを搭載したペイロード部を落下させ、飛行を制御し、あらかじめ設定したターゲットに誘導する実験を実施した。



1998

着陸航法系実験

科学技術庁航空宇宙技術研究所と宇宙開発事業団が、HOPE着陸航法基礎実験を実施。HOPE(H-II Orbiting Plane)は、H-IIロケットで打上げられ、地上に水平着陸する無人宇宙往還機である。



2002

CAMUIロケット打上げ、HASTIC設立

CAMUI型ハイブリッドロケットの最初の技術実験機が大樹町美成地区で打上げられた。同年、CAMUIロケット開発の中心組織、北海道宇宙科学技術創成センター（HASTIC）が設立された。



2008

JAXAと連携協力協定締結！

大樹町とJAXA（宇宙航空研究開発機構）が、連携協力協定を締結した。多目的航空公園のうち、JAXA所有施設を大樹航空宇宙実験場とするこの年から、大気球を用いた宇宙科学実験が始まり、これを期に多くの実験が実施された。



2013

大気球 世界記録更新

JAXAは航空公園にて「超薄膜高高度気球の飛行性能試験」を実施し、気球到達最高高度の世界記録を樹立した。気球は高度53.7kmまで上昇し、2002年に自身が記録した53kmの世界記録を更新。



2015

HTV搭載小型回収カプセル高空落下試験

宇宙ステーション補給機「こうのとり（HTV）」に搭載し、宇宙で得た試料を地球へ送る、小型回収カプセルの高空落下試験が実施された。



2019

インターステラテクノロジズ社 国内初となる民間単独開発で宇宙空間到達

5月4日5時45分に打上げられたインターステラテクノロジズ社「宇宙品質にシフトMOMO3号機」は、打上げから240秒後に最大高度113.4kmまで到達し、日本では初の民間企業単独での高度100km以上の宇宙空間到達を達成した。



2021

北海道スペースポート（HOSPO）本格稼働 SPACE COTAN（株）設立

北海道スペースポートの運営を担うSPACE COTAN（株）が大樹町及び6つの道内企業（帯広信金、十勝毎日新聞、川田工業、エア・ウォーター北海道、北海道新聞、IST）等の出資により4月21日に設立され、HOSPOが本格稼働した。



2022

人工衛星用ロケット発射場 Launch Complex-1(LC-1) および滑走路延伸工事着工

人工衛星用ロケット発射場 LC-1 が観測ロケット用発射場 LC-0 の隣の敷地約 26,800 m² に建設される工事と滑走路の 300m 延伸工事を着工。LC-1 にはロケットの組立棟や燃料供給プラント、エンジン燃焼試験棟等を備える予定。

1980s



1987

北海道総合計画に組み込まれる！

北海道新長期総合計画の戦略プロジェクトの一つに「北海道航空宇宙産業基地構想」が組み込まれ、大樹町が候補地に！

1990s



1993

小型ロケット打上げ実験

文部省宇宙科学研究所が、小型ロケットによる超音速パラシュート実験を実施。パラシュートを搭載した小型ロケットを発射し超音速状態でパラシュートを放出し、開傘状態を記録した。



1995

大樹町多目的航空公園竣工

航空宇宙産業基地構想実現への第一歩大樹町多目的航空公園が竣工し、1000m × 30m の転圧滑走路が整備された。



1998

滑走路を全面舗装化！

1995年に完成した、転圧滑走路を舗装改良し、LA-4(YS-11機)までの荷重に耐えうる構造へ航空宇宙の実験場として幅広く利用可能になった。

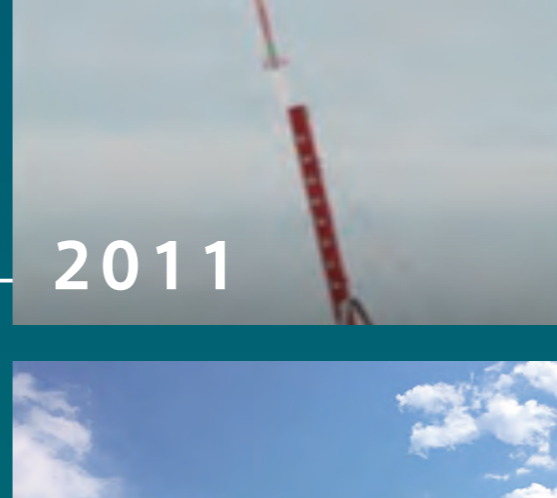


2004

格納庫などが整備される

成層圏プラットフォーム定点滞空飛行試験のために、2003年に航空宇宙技術研究所及び情報通信研究機構により飛行管制棟、格納庫、気象観測装置等が整備された。

2010s



2011

SNS社 ロケット打上げ

堀江貴文氏が創業者となる、SNS社が大樹町で小型液体燃料ロケットの打上げ実験を開始。その後、2013年に同社のロケット開発部門となるインターステラテクノロジズ社（IST社）が大樹町（芽武）に事業所を開所した。



2014

宇宙交流センターSORA オープン！

展示室・集会室を兼ね備えた「大樹町宇宙交流センター SORA」が、多目的航空公園内にオープン。視察や各種宇宙関連事業の拠点として活用。



2017

インターステラテクノロジズ社 観測ロケット「MOMO」打上げ

7月30日、インターステラテクノロジズ社が観測ロケット「MOMO」（全長10m、直径0.5m、重量1.2t）の打上げ実験を実施した。民間企業単独では初となる宇宙空間到達を目指したが、推定高度20km時点で通信が途絶したため、エンジンを緊急停止させ実験を中止した。

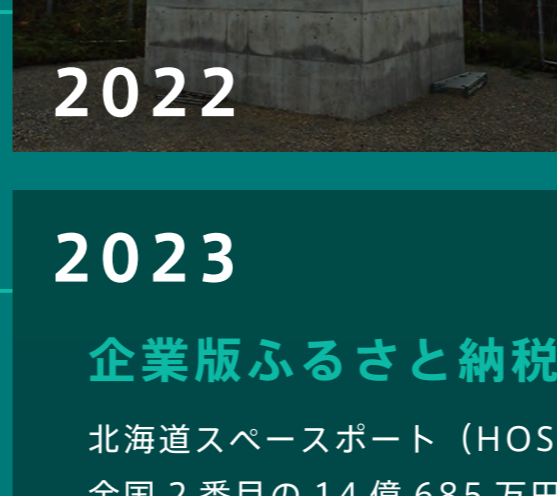


2021

インターステラテクノロジズ社 観測ロケット「MOMO」6、7号機の連続打上げに成功

7月3日「MOMO7号機」が、7月31日に「MOMO6号機」がそれぞれ宇宙空間到達を達成し、MOMOシリーズの開発が完了した。

2020s



2022

インフォステラ社が地上局サイトを開設

人工衛星用アンテナシェア事業を展開する（株）インフォステラが大樹町に初めて地上局サイトを開設した。大樹サイトにおいて、特定の衛星運用者の宇宙ミッションのための専用アンテナのホスティングサービスを提供する。

2023

企業版ふるさと納税寄附額が全国2番目に！

北海道スペースポート（HOSPO）プロジェクトへの2022年度企業版ふるさと納税寄附額が全国2番目の14億685万円となった。